

## 【研究名称】

先進医療としての腹腔鏡下広汎子宮全摘術の再発のリスク因子の後方視的検証  
(JGOG1081s-A1)

### 1. 研究の対象

2014年12月から2016年11月までの2年間に先進医療として行われた腹腔鏡下広汎子宮全摘術を受けられ、JGOG1081sに参加された方

### 2. 研究目的・方法

先進医療として行われたLaparoscopic Radical Hysterectomy (LRH) 263症例の実態調査研究を過去に行っており、この症例を対象に手技の詳細を含めた長期予後の追跡調査を行い、さらに一定の基準を設けることで良好な予後の担保を行うことができるかを検証します。

### 3. 研究に用いる情報の種類

JGOG1081sで提供した情報に加え、以下の情報を診療録から取得します。

取得した情報は研究代表施設である大阪大学医学部附属病院産婦人科へ提供されません。

#### 患者背景

術前MRIと摘出標本での最大腫瘍径、JGOG1081sにエントリーする前の施設としてのLRH執刀症例数

#### 手術

子宮回収方法（腫瘍の露出がないか）、リンパ節回収方法（腫瘍の露出がないか）、膣管切開の手法（腹腔内からか膣からか（腫瘍の露出がないか）マンシェット作成の有無を含め）、子宮支持方法（ダグラス窩からのトロカールなどを含める）、術中を通して腫瘍の露出の有無、回収経路の洗浄の有無など

#### 手術のQA

再発症例、非再発症例手術ビデオの評価を行う

#### 術後

術後30日以内 合併症の詳細(Clavien Dindo grade)

#### 予後

再発部位の詳細（骨盤内単発、多発、遠隔など）、再発部位（再発確認日）、生存の有無（最終生存確認日）

#### 4. 研究期間

倫理委員会承認後 ～ 西暦 2019 年 12 月 31 日

#### 5. 研究組織

金尾祐之	がん研有明病院 婦人科
三上幹男	東海大学 産婦人科
寺井義人	大阪医大 産婦人科
山下 剛	市立函館病院 産婦人科
梅村康太	豊橋市民病院 女性内視鏡外科
干場 勉	石川県立中央病院 産婦人科
田中浩彦	三重県立総合医療センター 産婦人科
安藤正明	倉敷成人病センター 婦人科
長谷川哲哉	大和市立病院 産婦人科
志岐保彦	大阪労災病院 産婦人科
浅田弘法	新百合ヶ丘総合病院
舟本 寛	富山県立中央病院 産婦人科
干場 勉	石川県立中央病院 産婦人科
吉田 浩	横浜市立市民病院 産婦人科
小谷泰史	近畿大学 産婦人科
京 哲	島根大学 産婦人科
杉山 徹	高木病院
戸上真一	鹿児島大学病院 産科・婦人科
野間 純	広島市立広島市民病院 婦人科
松浦俊明	福岡総合病院 産婦人科
藤原 浩	金沢大学附属病院 産科婦人科
吉野 潔	産業医大 産婦人科
権丈洋徳	九州大学医学部付属病院 産婦人科
藤岡 徹	愛媛大学医学部付属病院 産婦人科

#### 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、患者様が特定できる情報（患者様氏名・カルテ番号）については匿名化されておりますが、あなたの情報を研究に利用する事を希望されない場合はお申し付け下さいれば情報利用する事を停止致します。情報利用を希望されなくても、あなたに不利益

を被る事はありませんのでご安心下さい。

連絡先：〒589-8511

大阪府大阪狭山市大野東 377-2

電話：072-366-0221 FAX：072-368-3745

近畿大学病院 産婦人科

研究責任者：小谷 泰史